

令和四年度 大阪国税局長賞

税が支える命

大淀町立大淀中学校 三年 宿里 香織

私のおじいちゃんは高齢で体が弱く、救急車を呼ぶことが今までに何度かあった。しんどそうな祖父の顔を見ると心配になるが、救急車で運ばれた後は、いつも元気そうに帰ってくる。

私がニュースを見ていると、アメリカでは救急車を呼ぶ料金が非常に高く、熱中症や病気で倒れても救急車を呼べないことがほとんどということを知って、すごく驚いた。海外の救急車について調べてみると、ニュースで見たアメリカでは、1回の救急車の料金は、日本円に換算すると、約四万円～二十一万円になるそうだ。他の国についても、日本のように救急車の要請が完全に無償な国はないそうだ。私はそれを知って、命に危険がある人が救急車を呼びたくても呼べないことに、驚きを隠せなかった。私は、救急車のありがたみをすごく感じた。

なぜ日本では救急車が無料なのか疑問に思った私は、母にたずねてみた。母は、「救急車は、税金によってまかなわれているんだよ。おじいちゃんが元気に帰ってこれるのも、税金のおかげだよ。」と私に言った。税金が私たちの生活にとって、すごく重要な役割をしていることは、以前に習ったことがあるが、救急車にも税金が使われていることは知らなかったので、すごく驚いた。税金によるサービスは、警察や消防、ゴミ収集、福祉など、身の回りのさまざまなことに使われている。私たちが使っている教科書も、税金によってまかなわれている。税金は、私たちが思っているよりもすごく身近で、私たちの暮らしを支えてくれているのだ。

私たちが払う税金には、「消費税」、「所得税」、「法人税」などがあり、全部で約五十種類もあるという。国民全体が払った税金は、国のお金となり、その中での多くが、社会保障に使われている。社会保障とは、医療や年金、介護などの公的サービスのしくみだ。今、我が国では少子高齢化が進み、税の負担が大きくなっている。インターネットでは、「自分が一生懸命働いてもらったお金を、なぜ税金として国に払わなければならないのだ。」という書き込みをよく目にする。しかし、私のおじいちゃんのように、税金によって一人の命が助けられていると思えば、自分が払う税金によって誰かが救われていると思うことができるのではないだろうか。実際、私も税金について調べて、税金のおかげで私たちの暮らしが豊かになっていることを知ることができた。

税金は、私のおじいちゃんの命やたくさんの方の命を救っている。あまり私たちが繋がりがないように思えた税金は、すごく身近で、一人一人の為に使われている。そして、私たちが払う税金は、誰かの命を支えている。これからは、税の役割をしっかりと理解して、税金を納めたい。